

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 8 月 8 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3873600377		
法人名	株式会社 新風会		
事業所名	グループホーム 白雲		
所在地	大洲市白滝甲 6 6 9 番地 4 (電話) 0893-54-0123		
管理者	丸本 真由美		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 7 月 3 日	評価確定日	平成 20 年 8 月 12 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 6 月 13 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 11 月 26 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 10 人, 非常勤 6 人, 常勤換算 13 人	

### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	6,000 円
敷金	有( )円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	240 円	昼食 380 円
	夕食	380 円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

### (3) 利用者の概要 (平成 20 年 6 月 13 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護 1	8 名	要介護 2	5 名
要介護 3	4 名	要介護 4	1 名
要介護 5	名	要支援 2	名
年齢	平均 88 歳	最低 79 歳	最高 97 歳

### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

肱川のゆったりとした流れを目の前に眺めることができ、パノラマのような自然の広がりや絶景である。建物はおしゃれなたたずまいで、居室・共用空間共にゆったりとした広さがあり、思い思いに過ごすことができる。開設者が医療法人代表であり、健康面での管理がしっかりなされ、利用者は落ち着いて生活している様子がうかがえる。職員は、利用者一人ひとりの思いを受け止め、積極的に研修を重ねながら、認知症ケアに意欲的に取り組んでいる。同業者間のネットワークがあり、更なるサービス向上が期待できる。

## 【質向上への取組状況】

### ▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

具体的な改善シートの作成は行っていないが、運営推進会議の議題に、評価結果として改善課題を開示して改善に取り組もうとしている。

### ▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

振り返りと気づきを得る良い機会と捉え、職員全員で取り組んでいる。項目毎に複数の職員が集まって自己評価に取り組んだことで、職員も各々の思いなどを知ることができ、今後のサービス向上に繋げていくことができると考えている。

### ▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

丁寧に取り組もうとしているが、メンバーの参加は少なく、また内容はホームの行事計画や報告が多く、意見交換がやや少ない。構成メンバーを再度検討し、地域で活動している団体や地域住民の参加を増やして、地域からの意見を取り入れ易くしていくことが求められる。開催の日程についても参加者の都合を把握して、より多くの方が参加しやすいように工夫することが望まれる。

### ▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

家族の多くは週に1回から月に1回以上の来訪があり、その都度暮らしぶりや健康状況を伝えている。金銭管理については個々に出納帳を作り、確認してもらっている。来訪の少ない家族には文書にて報告・連絡している。面会時の声かけや会話の中で思いを聞き取り、サービスに繋げていくという意識を職員全員が共有することを期待する。家族が集まる機会をうまく利用し、家族だけで茶話会のような雰囲気や気軽に会話しながら意見等を表出できるような時間を設け、意見をくみ取っていくような工夫についても取り組みを期待する。

### ▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

祭りなどの地域行事に参加したり、中学校の職場体験や小学校の総合学習(福祉教育)などを受け入れ、交流を図っているが、地元の方との交流は少ない。自治会に加入するなどして、日常的に地域活動の情報交換を行い、毎日の生活の中で地域の方とふれ合う機会を増やしていく取り組みを期待する。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム白雲

(ユニット名) 1ユニット

記入者(管理者)  
氏名 丸本真由美

評価完了日 平成 19 年 5 月 31 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 白雲独自の理念を作っている。  (外部評価) 法人としての理念を念頭に置きながら、職員全員が自分たちのユニット毎に「笑顔のある毎日」「一日一回外へ」「人権の尊重」「ゆっくり、ゆったり、楽しく」といった具体的な目標としての理念をつくっている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) グループホームの意義を理解して、方針や目標を具体化して、日々話し合いながら、介護に取り組んでいる。  (外部評価) 日々の生活の中で人と人とのつながりを持てるよう、目を合わせて声をかけるなど、理念を共有して実践に努めている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族の方は、訪問時に掲示を見ていただいたり、報告などもしているが、地域への浸透は充分でない。	※	地域のことに関心を持ち、積極的に地域の行事などに参加して、触れ合いを持つことで、理解していただけるようにしていく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 挨拶はしっかりしている。 季節の野菜を分けていただいたりする。 猫の餌やりに来られている。	※	
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) うら盆まつりには、笹飾りと作り物を出品した。 近所の方の厚意で、場所を提供していただいた。 保育所、小学校、中学校との交流がある。 区長さん、民生委員さんは、運営推進委員でもあり、情報提供や交流の橋渡しをしてくださる。	※	自治会、老人会活動への参加が不十分なので、今後の課題として取り組みたい。
			(外部評価) 祭りなどの地域行事に参加したり、中学校の職場体験や小学校の総合学習（福祉教育）などを受け入れ交流を図っているが、地元の方との交流は少ない。	※	自治会に加入するなどして、日常的に地域活動の情報交換を行い、毎日の生活の中で地域の方とふれ合う機会を増やしていく取り組みを期待する。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域貢献はあまり取り組めていない。が、地区社協の利用者さんや、サロン事業の参加者の方の見学を受け入れた。 入居者さんと顔なじみの方も大勢いて、大変喜ばれた。	※	地域の方が直接、相談、見学に来られたこともあったので、これからも丁寧に対応していきたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価の意義について学習し、全員で取り組んだ。 昨年の改善点として、地震時のマニュアル作成や、献立のカロリー計算を依頼して、利用者の安全と、食事のよりよい充実について検討した。	※	改善に取り組んでいきたいと思う。
			(外部評価) 振り返りと気づきを得る良い機会と捉え、職員全員で取り組んでいる。項目毎に複数の職員が集まって自己評価に取り組んだことで、職員各々の思いなどを知ることができ、今後のサービス向上に繋げていけると考えている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に1回開催して、行事や利用者さんへのかかわり等、報告している。 評価への取り組みや、改善点など報告している。 緊急時の、一時避難場所として、下の集会所を利用させてもらうことができる。	※	評価結果を報告して、改善、サービス向上につなげていきたい。
			(外部評価) 丁寧に取り組もうとしているが、メンバーの参加が少なく、また内容はホームの行事計画や報告が多く、意見交換がやや少ない。	※	構成メンバーを再度検討し、地域で活動している団体や地域住民の参加を増やして、地域からの意見を取り入れやすくしていくことが望まれる。また、開催の日程についても参加者の都合を把握してより多くの方が参加しやすいような工夫も期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市のサービス担当者会や連絡会に出席して、情報交換、勉強会を行っている。 生活保護受給の利用者さんの件では、連絡したり相談している。	※	今後も継続していく。
			(外部評価) 市主催のサービス担当者会議等を通して意見交換している。また、生活保護担当課の窓口とも連携しており、相談できる関係ができています。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修に参加して、勉強会に取り入れている。 関係者で話し合いを行ったが、利用に至らなかったケースがある。	※	今後も研修会への参加や、勉強会の中に取り入れていく。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 高齢者虐待関連法について学習した。管理者、ホーム長、職員同士そのようなことがないように気をつけている。	※	全職員への徹底をしていく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 管理者が、書面をもって、わかりやすく、丁寧に説明して、理解、同意を得ている。 各種の契約、同意書がある。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者さんとの話の中から、思いを汲み取っている。 月1回介護相談員さんの訪問があり、利用者さんの話を聞いてもらっている その都度、対応し反映している。	※	介護相談員さんとも馴染みの関係ができています。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月の新聞の発行。 面会時に、生活の様子、健康状態、金銭管理の報告をしている。 遠方や、面会に来られない家族には電話や手紙連絡を行っている。 職員の異動について、文書送付時に知らせている。 (外部評価) 家族の多くは週に1回から月に1回以上の来訪があり、その都度暮らしぶりや健康状況を伝えている。金銭管理については個々に出納帳を作り、確認してもらっている。来訪の少ない家族には郵送で報告・連絡している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 契約時に苦情相談先の説明を行っている。 意見箱の設置。 家族からは、面会時に意見等聞いている。 介護相談員さんの来所があることも伝えている。 (外部評価) 相談窓口や意見箱の設置、介護相談員の来訪等も知らせているが、意見や苦情は集まっていない。家族会を開いているが、ホームが主体となっている。	※	面会時の声かけや会話の中で思いを聞き取り、出された意見等をサービスに繋げていくという意識を職員全員が持つことが望まれる。家族が集まる機会をうまく利用して、家族だけで茶話会のような雰囲気でも気軽に会話できるような時間を提供するなどして意見をくみ取っていくような取り組みにも期待したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 業務カンファレンスを行い、職員の意見を聞くようにしている。 法人のホーム長会議が月に1回あり、話し合いの場が設けられている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 勤務の調整はできている。 利用者が病気の時や、行事外出時の対応として、時間外勤務によって、必要な職員数を確保している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) やむを得ず異動する場合があるが、開設当初よりの職員がいて、利用者の不安は少ないように思う。 交替時には、引継ぎをしっかりと行い、不安を少なくし早く馴染みの関係が作れるように努力している。  (外部評価) 利用者との馴染みの関係の重要性を理解しており、比較的異動は少ないが、異動時には十分な引継ぎをするようにしている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 習熟度にあった研修の参加をしている。 法人内の研修会、外部研修会への参加。 業務カンファレンスの時に発表し、他の職員も学んでいる。資格試験への挑戦。 県の在宅介護支援センターでの技術講習への参加。  (外部評価) 県在宅介護研修センターなどの研修会の情報を開示し、順次受講できる体制となっている。月1回開催しているケアカンファレンス、業務カンファレンス時にも、テーマを決めて勉強会を実施している。	※	技術習得の研修会への参加が少ないので、情報を収集してこれからも参加していく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 法人内のグループホームとの交流会。サービス担当者会での情報交換。 他グループホームへの運営推進会議への参加。 市内の、8箇所のホームの見学。  (外部評価) 市内のグループホームでネットワークを組んでおり、持ち回りで相互訪問、勉強会の開催等への取り組みが始まっている。ネットワークを通して相互のサービスの質の向上、職員の資質アップを期待している。	※	11月に、当ホームに見学に来ていただく予定。 ネットワーク作りをして、質の向上に努めていく。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 時間を決めて、その時間内に休むようにしている。 休憩室がないので、研修室にソファを置いている。 管理者や、ホーム長に相談する体制が出来ている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 管理者、ホーム長、計画作成担当者のポストがある。 努力や実績に応じて、研修に参加できる。 努力や実績に対して、ねぎらいの言葉があり、資格給がある		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談者からの情報も得られる範囲で、理解しておく。 依頼後、訪問調査を行い、本人の様子を知り、本人から話を聞いている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 訪問調査時に、家族にも同席してもらって、困っていることを理解し、知りたいことに対して答えられるようにしている		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人にとって、グループホームが本当にあっているかどうかよく話を聞くようにしている。 担当のケアマネジャーさんと相談している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ホームの見学に来ていただき、他利用者や職員と一緒に、お茶を飲んで会話したり、何回か通ってもらったりして、利用されるかどうか相談している。  (外部評価) 自宅を訪問したり、ホームを見学してもらい、一緒に暮らすことになる利用者や職員との顔合わせを重ねて、馴染みやすい状態を体験してもらいながら、納得してもらったうえで利用を開始している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者さんの生活歴を生かしての食事作り、畑の野菜作りなど意見を聞きながら、一緒に行っている。 人生の先輩ということを頭において接している。 利用者さんは、自由に感情表現をしている。  (外部評価) 人生の先輩である利用者、子育てや料理などについて、たくさん知識を教えてもらっている。家事などは気持ちよく手伝ってもらいながら、おしゃべりが弾んでいる。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時等に、生活状況を伝え、今、利用者さんにとって一番必要なことを、共に考えるようにしている。	※	情報は常に家族さんに知らせているが、こちらに任せきりの家族さんに対するの取組みが課題。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族の生活や家族関係の理解に努め、キーパーソンを見極めている。支援が必要な時に、協力が得られるようにしている 面会の自由、家族との、外出、外泊支援。	※	利用者さんの気持ちを代弁して、面会、外出、外泊の希望を持っていることを、もっと伝えていくようにしたい。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族への手紙、年賀はがきを書いている。 ドライブを利用してのふるさと訪問。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 難聴のため、利用者間で会話にならない人は、職員が間に入り、会話を取り持っている。 相性の善し悪しを考えて、テーブル席を決めている。 個人個人に、見合った手伝いを把握して、役割をもてるように支援している。	※	閉じこもり傾向のある人には、一人で過ごす時間が長くないように、声かけしてかかわっている。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院をされた方には、お見舞いに言っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の希望や意向を、その人に合った声かけをして、確認している。困難な場合は、日頃の会話や、様子から察している 日常生活の中で、関心を持って仕事をしている。 全員で共有し、ケアに生かせるようにしている。  (外部評価) 自分の意見を言う利用者が少ないので、家族から得られる情報等から思いや希望をつかもうとしている。	※   ※	本人の意思を大切にしていく。   利用者の行動や表情から言葉に表せない思いをくみ取り、日々の関わりの中でよく話を聞き、把握した情報を記録して職員全員で共有し、サービスに反映していくことが求められる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 訪問調査のアセスメントで把握、理解するようにしている。 分からない点は、入所後に本人、家族に確認して、生活の混乱が起きないようにしている。 サービス利用の経過も、全員で理解している。 利用者用ノートの活用。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 一人ひとりの生活パターンを把握し、できる事を一緒に行っている。 利用者さんのペースに合わせている。 利用者ノートの活用。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 月1回は、全員でケアカンファレンスを行い、本人、家族の意向も確認して、本人の課題について話し合っている。 利用者本位の計画を作成している。 担当職員を決めて、対応している。  (外部評価) 職員それぞれが日々の関わりの中で得た気づきを利用者ノートに書き込み、それらを取り入れながら担当者が介護計画案をつくり、ケアカンファレンスを行って作成し、家族の同意を得ている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 介護計画の期間に応じて見直しをおこなっている。 身体状況の変化があった時など、ミニカンファレンスを行い新たな現状に即した計画を作成して、全員で共有するようにしている。 家族からの情報の収集や提供をしている。  (外部評価) 月1回のケアカンファレンスで介護計画にそった評価を行い、必要な見直しを行っている。具体的な変化が生じた場合はミニカンファレンスを行って対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別の介護記録、経過観察記録に日々の気づきを記録している。 利用者用の申し送りノートにも気づき等記入して、読むとサインをして、情報の共有をしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 本人、家族の要望に応じた受診介助、理美容院の利用。 自宅訪問（必要時） 法人内のグループホームより、本人、家族の希望で地元である当ホームへ移って来られた。  (外部評価) 利用者や家族の要望に応じて、自宅の訪問、墓参り、かかりつけ医への受診、理美容院への外出など様々な支援を行っている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 生活保護受給の利用者さんの件で、民生委員さんに支援してもらっている。 保育所、小学校、中学校との交流。 消防署の避難訓練や救急救命講習。 ボランティアの方の歌や踊り、手品など。	※	これからも継続していく。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 福祉用具の購入や、貸与などのサービスを利用している。	※	本人の意向や、家族の希望に応じて、他のサービスも利用できるように支援していきたい。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 権利擁護の必要な人について、八幡浜社協から地域包括支援センターへ相談ののってもらえるように準備してもらっている。	※	運営推進会議に、地域包括支援センターの職員さんの出席が可能かどうか、市の担当者が検討してくださっている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) かかりつけ医の往診あり。 利用者、家族が希望する病院を受診している。 (歯科、眼科、耳鼻科、皮膚科等)  (外部評価) 協力医療機関が月2回の往診により健康管理を行っている。利用者の持病などによるかかりつけ医への受診支援は協力医療機関が中心となって行っている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 必要により、専門医へ受診している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 毎朝、連絡医療機関の看護師に、健康状態の報告をしている。 毎日のバイタルチェック、症状を把握し相談、支援している。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院した時は、情報提供書を書いて理解してもらっている。 主治医に、その都度、様態を確認している。 お見舞いに行って、本人、家族とも面会している。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 医療連携体制、重度化した場合、看取りについての文書で説明している。 その都度、医師、家族と話し合っている。 本年度は、看取りの症例なし。  (外部評価) 重度化及び看取りに関する指針を定め、家族の意向を大事に考えながら、主治医と相談を重ね、繰り返し話し合いながら支援している。現在までにホームとして2名の看取りの経験がある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 家族の意向、医師の方針等確認しながら、カンファレンスをして、全員で方針を共有している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) ホーム内での生活の様子を報告し、考える問題行動について情報交換して、安心して住み替えができるように、対応している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 一人ひとりの声かけや、接し方に気をつけている。 個人の守秘義務を守っている。 記録類の取り扱いにも、気をつけている。  (外部評価) プライバシーを損ねることのないよう声かけ等には十分配慮している。また、情報や記録などを持ち出すことがないよう、個人情報の管理には注意している。		失敗に対して、叱ったり、誇りを傷つけるような声かけや対応をしない。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人にわかりやすい説明を心がけて、自己決定できるように促している。(入浴、外出、食べ物等) 利用者さんが思いや希望を表した場合、できる範囲で実現できるように努力している。(買い物、外食等)		選んでもらう場面を作ったり、選ぶのを待つことなどに心がけている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個人の意見を尊重し、本人がしたいと思っていることを大切に、毎日が、安心して、楽しく過ごせるよう支援している。 一人ひとりのペースで生活している。  (外部評価) 声かけをしてその日の様子を感じ取り、ペースに合わせた支援ができるよう配慮している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人が希望する、地域美容院の利用。 3ヶ月くらいの間隔で出張美容の利用。 家族が、理容師さんでカットされている人もいる。 外出の時は、特におしゃれをするようにしている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 行事や、誕生会の時に、本人の好みを聞いている。 一人ひとりの好き嫌いは把握している。 下ごしらえ、調理、後片付けなど、その人の力量に応じて、毎日してもらっている。 職員も、同じ食事をしている。  (外部評価) 食事の準備、配膳、片付けなど、できることを手伝ってもらっている。利用者間で会話が弾み、楽しい時間がゆっくりと流れている。食事のペースがそれぞれ違っているが、お互いを思いやって待つ姿勢がある。	※	これからも、一緒に食事作りを楽しみたい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 嗜好を聞いているが、タバコを吸う人はいない。 お酒も、行事の時に少し飲む程度である。 希望により、お部屋におやつを置いている。 飲み物も、好きなものを選んでもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 早めに声かけ誘導して、失禁なく過ごせるように支援している。 失禁パンツの利用、布パンツに尿とりをあてるなど、個々の状態に応じて排泄支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) その人に合わせた入浴時間になっている。 熱い湯の人、ぬるい湯の人など時間をずらしている。  (外部評価) 一人ひとりの希望に応じられるよう、午前・午後どちらでも入浴できるよう配慮している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 早寝、早起き、寝付かれない人など、一人ひとりの睡眠パターンを把握して支援している。 表情や、行動を観察して、休息するように促す。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 個々の利用者の力に合わせて、料理、コップ洗い、洗濯物干し、たたみ、掃除など役割をもって生活している。 ドライブ、買い物など、外に出ている。  (外部評価) 新聞を取りに行く、コップ洗い、タオルたたみ、食材採り、料理、大正琴、詩吟など、各々のできることが自信となるよう支援している。	※	役割や、楽しみごとはできているので、ドライブ等、気晴らしの支援をもう少し増やしていきたい



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自己管理をしている人もいる。 管理が難しい人でも、買い物の際は、自分で財布を持ってもらって、職員が、傍らで支援している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 庭の散歩、畑の草引き、花の水遣りなど外に出る機会を作っている。 希望に添って、家に荷物とりに帰ったり、ドライブ等している。  (外部評価) 買い物を楽しみにしている利用者があるので買い物に出かけたり、回転寿司やドーナツ、ケーキ等の外食を楽しんだり、弁当を作って外出したり、自宅へ出かけるなど、戸外に出かける機会を多く持てるよう支援している。	※	これからも個別の外出の機会を増やしていく。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) できるだけ行事に取り入れて支援している。 お弁当を作っての名所見学、外食、ふるさとドライブ等。	※	個々の希望等をこれからも大事にしていく。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人が希望する時は、電話の取次ぎをしている。 手紙の上書きや、代読の支援をしている。	※	これからもその都度支援していく。
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 面会の時間制限はしていない。椅子とお茶の準備をして、自室でゆっくりと過ごしていただいている。 フロアで他の利用者さんも交えて、お話される家族さんもいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 禁止となる具体的な行為について、勉強を行った。 身体拘束マニュアルを作り、身体拘束をしないように取り組んでいる。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は開錠している。居室には鍵をかけていない。 利用者さんが外へ出ようとされる時は、職員が同行している 朝晩の鍵の開け閉めは、利用者さんにして頂き、確認している。  (外部評価) ハード面のみでなく、心の面でも鍵をかけないケアに取り組んでいる。外へ出かけた気持を察知すると、さりげなく同行して出かけるようにしている。利用者が出かけると近所の方が声をかけてくれるなどの関係も築いている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 昼夜を問わず、一人ひとりに気配り、目配りをして、安全の確認をしている。 スタッフ間で協力して見守りをしている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 危険物は、夜間は、決められた場所へ保管している。 危険性のありそうな物を持っている利用者さんは、見守りを強化している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) マニュアルを作り、対応している。 情報交換して、事故防止に努めている。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 年1回、消防署による指導、訓練をしている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 火災避難訓練は、定期的に行っている。 他の、災害訓練は、まだできていない。	※	地域の防災訓練にも参加していきたい。 近所の人への協力依頼。
			(外部評価) 火災時の避難訓練は定期的実施しているが、火災以外の場合や夜間を想定した対策は行っていない。	※	山肌に位置していることもあるので、土砂崩れなど自然災害等への対策も検討しておくことが望ましい。ホームの外への避難に対しては、立地的にホームだけでは難しいと思われるので、地域の応援が得られるよう日頃から協力を呼びかけておくことが求められる。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 面会時や、電話で、日常生活の変化やリスクの説明をして、理解を得るようにしている。	※	身体機能は、低下していくので、家族との話し合いは、これからも必要である。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日のバイタルチェックや、表情の変化等、いつもとちょっと違うことに気をつけている。 申し送りや、情報を共有し、受診や、往診依頼など対応するようにしている。	※	認知症の人は、体調に変化があっても自覚症状や訴えが少ないことを理解し、観察力を身につけていかなければと思う。
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬(個人)の一覧表があり、それを見ることで理解するようにしている。 誤薬や、飲み忘れがないように、毎食後、手渡し確認している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 毎日、午前の健康体操、午後のラジオ体操。 おなかのマッサージや歩くことをしている。 排便困難な人には、センナ茶を飲んでもらっている。	※	一人ひとりにあつた対応を考えていく。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、歯磨き誘導して、見守りをしている。 ポリドントを、週1回施行している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの食事量と水分量は把握している。 カロリー計算を依頼し、栄養バランスを考えている。 体重の増減を気かけながら、量の調整をしている。 献立委員さんが、メニューのチェックをしている。 自室に、急須をおいて、夜間、水分補給している。  (外部評価) 栄養士によってカロリー計算し、栄養バランスを考慮したメニューを用意している。体重チェックによる栄養状態の管理も行っている。水分摂取に関しては、意識的に調節している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルを作り、対応している。 インフルエンザワクチンの予防接種。 うがい、手洗いの励行、手すりの消毒、衣類の高温殺菌など行っている。	※	感染症流行の情報に気をつけて、早めに対応していく。
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理用具は、毎日、夜に消毒している。 冷蔵庫、台所も、きれいに片付けるようにしている。 食材は、毎日、新鮮なものが届く。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 門は開放していて、気軽に出入りでき、スロープや手すりがある。 広々とした中庭や、花壇があり、季節の花を植えている。 上がり口が坂道なので、注意が必要。	※	坂の下に標識をつけたい。
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 外の風景も目に入りやすく、圧迫感がない。 フロアは、カーテンを利用し、採光に気をつけている 台所は、対面式で、利用しやすい。 貼り絵や、草花で季節感を出している。  (外部評価) 対面式のオープン台所は十分な広さがあり、みんなで一緒にゆっくりと作業できる。大きな窓はカーテンで採光とムードを調節している。あちこちに生花が飾られ、落ち着いた雰囲気となっている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 畳や、椅子を置いて、好きな場所でくつろいでもらっている		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 馴染みの物を持ってきてもらうように、いつも話している。 家族の写真や、好きなものを置いている。 が、何日か経つと認知症のため、のけてしまう人もある。  (外部評価) すっきりと片付いている部屋、私物が積まれている部屋、写真や思い出の品が飾ってある部屋など、思い思いに利用者の生活が垣間見られ、ほっとできる自分の居場所を確保している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 天気の日など、こまめに換気し、空調は、定期的に掃除している。 日中、夜間の温度差に気をつけて、その都度、温度調整に気をつけている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) フロアの中央に食卓、台所、ワーカー室があり、利用者さんの動きを確認しやすい。 手すりを利用して、日常生活ができています。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 各居室には、顔写真をはったり、トイレの表示も分かりやすくしている。 声かけにより、不安をなくし安心できる環境作りを目指している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 中庭は芝生で、花壇や畑があり、野菜の収穫を楽しむことができる。 外やベランダに洗濯物が干せる。 利用者さん個々の花を植えて、室内から見えるようにしている。	※	利用者さんと一緒に、花をそだてることを、目標にしている。

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々、一緒に生活する関わりの中から、掴んでいるが、認知症の進行により、コミュニケーションが難しく、理解しにくい人もいる。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	1 毎日ある (自己 ② 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	利用者さんの状態も変化して、身体介護に費やす時間も多くなり、毎日ということは少なくなった。職員はゆったりするように働きかけても、利用者さんのほうが、先に動いてしまうこともある。できるだけ、ゆっくりする時間を、持つようにしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとり、自分のリズム、マイペースを持っていて、職員はそれに合わせるように関わっている。入浴など、声かけ、誘導、介助しないと入らない人がいるので、その時は、職員のペースになることもある。ゆっくりペースの人、何かしていないと落ち着かない人、様々である。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日、何かしらの笑いがある。利用者さんは、喜怒哀楽を自由に表している。一部、あまり反応のない人もいる。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎月の行事に買い物や、外出など希望に添うように努力している。外出拒否する人以外は、満足していると思う。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	見守り対応できているが、立地上、門の下の坂道が、危険である。皆、高齢で持病があり、認知症ゆえ自覚症状や訴えが少なく、安静にできない人もいるため、気をつけている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	皆、自分のペースで生活できている。それぞれに、したいことできる事を支援している。うれしい、ありがとう、楽しいなどの言葉が聴かれる。自分の感情表現はされている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	1 ほぼ全ての家族と (自己 ② 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	信頼関係はできていると思うが、家族により個人差がある。遠方の家族さんには、電話や手紙で、近くの方は面会時に話をするようにしている。何かの時は、協力していただいている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) ③ たまに 4 ほとんどない	お祭りの、お神輿に上がってきて頂いたが、地域の人が、気軽に立ち寄ってくれるまでには、なっていない。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	うら盆まつりの参加では、実行委員の方々や、地域の人にお世話になっている。
98	職員は、生き活きと働けている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員自身が楽しくないと、利用者さんも楽しめないと思って仕事をしている。利用者さんの健康状態が悪い時、心配で、しんどい時だと思う。今、その時を一生懸命生きる、利用者さんの姿に、私たちが学んでいる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	当たり前な生活を、楽しく送れるように、支援している。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会に来られる家族さんの、話や表情から感じている。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

施設の中の大きな窓からは、清流肱川のゆったりした眺めを見ることができ、ホームの2本の桜が季節を感じさせてくれます。毎月1回、詩吟の先生に、声だし練習や、詩吟、歌を指導していただき、口腔機能が低下しないように、取り組んでいます。地域行事の白滝うら盆祭りでは、笹飾りや作り物を、通りに飾ってもらっています。また、保育園児との、楽しい交流もしています。



(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム白雲

(ユニット名) 第2ユニット

記入者(管理者)  
氏名 丸本真由美

評価完了日 平成 19 年 5 月 31 日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 白雲独自の理念を作っている。  (外部評価) 法人としての理念を念頭に置きながら、職員全員が自分たちのユニット毎に「笑顔のある毎日」「一日一回外へ」「人権の尊重」「ゆっくり、ゆったり、楽しく」といった具体的な目標としての理念をつくっている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) グループホームの意義を理解して、方針や目標を具体化して、話し合いながら、介護に取り組んでいる。  (外部評価) 日々の生活の中で人と人とのつながりを持てるよう、目を合わせて声をかけるなど、理念を共有して実践に努めている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族の方は、訪問時に掲示を見ていただいたり、報告をしているが、地域への浸透は充分でない。	※	地域の方々と取り組んでいけるよう積極的に地域行事へ参加していき理解していただけるようにする

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 挨拶はしっかりとしている。 猫の餌やりにこられている。 日常的な付き合いはまだ不十分である。	※	遊びに来たり、立ち寄ってもらえるような取組みを考える
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の祭りへの参加や、教育機関との交流はできている。  (外部評価) 祭りなどの地域行事に参加したり、中学校の職場体験や小学校の総合学習（福祉教育）などを受け入れ交流を図っているが、地元の方との交流は少ない。	※	日頃から関係を深める働きかけを行っていききたい  自治会に加入するなどして、日常的に地域活動の情報交換を行い、毎日の生活の中で地域の方とふれ合う機会を増やしていく取組みを期待する。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域への貢献はあまりできていない	※	取り組んでいけるよう努力していききたい
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 意義について理解していき、皆で評価して取り組んでいる  (外部評価) 振り返りと気づきを得る良い機会と捉え、職員全員で取り組んでいる。項目毎に複数の職員が集まって自己評価に取り組んだことで、職員各々の思いなどを知ることができ、今後のサービス向上に繋げていけると考えている。	※	改善に取り組んでいきたいと思う

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に1回開催している。 月々の行事への取り組みや、利用者さんの様子など報告して、スタッフがどのように関わっているか理解してもらっている。	※	その時の意見をいかせるよう取り組んでいる
			(外部評価) 丁寧に取組もうとしているが、メンバーの参加が少なく、また内容はホームの行事計画や報告が多く、意見交換がやや少ない。	※	構成メンバーを再度検討し、地域で活動している団体や地域住民の参加を増やして、地域からの意見を取り入れ易くしていくことが望まれる。また、開催の日程についても参加者の都合を把握してより多くの方が参加しやすいような工夫も期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市との連携を取りながら、サービス担当者会への参加や情報の交換を行っている	※	これからも積極的に参加していく
			(外部評価) 市主催のサービス担当者会議等を通して意見交換している。また、生活保護担当課の窓口とも連携しており、相談できる関係ができています。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 権利擁護、成年後見を利用している方がいる。 必要時には、連絡を取り、訪問していただくよう支援している。	※	勉強会に参加して、ホームに持ち帰り再度勉強会も開いている。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待について学び、日頃より気をつけて防止に努めている	※	これからも学習して、全職員への徹底をしていく

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 管理者が、書面をもって、わかりやすく説明して同意を得ている。 各種の契約、同意書がある。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者さんと少しでも話すようにしている 月1回来られる介護相談員さんからも利用者さんの思いを伝えてもらっている	※	毎月の行事の中に、希望を取り入れ計画をたてている。 介護相談員さんとも馴染みの関係ができています
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月の新聞の発行 面会時に、最近の様子や、金銭管理の報告をしている。 遠方や面会に来られない家族には、手紙や電話連絡をしている。  (外部評価) 家族の多くは週に1回から月に1回以上の来訪があり、その都度暮らしぶりや健康状況を伝えている。金銭管理については個々に出納帳を作り、確認してもらっている。 来訪の少ない家族には郵送で報告・連絡している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 契約時に苦情相談先の説明をおこなっている。 意見箱の設置 家族からは、面会時に意見等聞いている。  (外部評価) 相談窓口や意見箱の設置、介護相談員の来訪等も知らせているが、意見や苦情は集まっていない。家族会を開いているが、ホームが主体となっている。	※	面会時の声かけや会話の中で思いを聞き取り、出された意見等をサービスに繋げていくという意識を職員全員が持つことが望まれる。家族が集まる機会をうまく利用して、家族だけで茶話会のような雰囲気できれいに会話できるような時間を提供するなどして意見をくみ取っていくような取り組みにも期待したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 業務カンファレンスがあり、職員の意見を聞くようにしている。 法人のホーム長会議があり、話し合いの場が設けられている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 勤務の調整は、できている。 時間外勤務により必要な職員数を確保している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動は、必要に応じてあるが、利用者への心理的影響が大きくないように配慮している 開設当初よりの、馴染みの職員が多い  (外部評価) 利用者との馴染みの関係の重要性を理解しており、比較的異動は少ないが、異動時には十分な引継ぎをするようにしている。	※	交代時は、引継ぎをしっかりとっていく
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 習熟度にあった研修の参加をし、その内容を発表して、職員にも周知してもらう。 資格試験への挑戦 職員一人ひとりが目標を持って、レベルアップに努めている  (外部評価) 県在宅介護研修センターなどの研修会の情報を開示し、順次受講できる体制となっている。月1回開催しているケアカンファレンス、業務カンファレンス時にも、テーマを決めて勉強会を実施している。	※	技術習得の研修会への参加が少ないのでこれからも参加していきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) サービス担当者会での勉強会、情報交換 他グループホームへの運営推進会議への参加 市内の、8箇所ホームの見学  (外部評価) 市内のグループホームでネットワークを組んでおり、持ち回りで相互訪問、勉強会の開催等への取り組みが始まっている。ネットワークを通して相互のサービスの質の向上、職員の資質アップを期待している。	※	11月に、当ホームへ見学に来ていただく予定 ネットワーク作りをして、質の向上に努める
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 時間を決めて、その時間内に休むようにしている。 休憩室がないので、研修室にソファを置いている 管理者や、ホーム長に相談する体制ができている		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 管理者、ホーム長、計画作成担当者のポストがある。 努力や実績に応じて、研修に参加できる。 努力や実績に対して、ねぎらいの言葉があり、資格給がある。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 訪問調査、情報を得て、本人の様子などを知り接していくようにしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 訪問調査時に、家族にも同席してもらい、困っていることを理解し、知りたいことに対して返答できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人にとって、グループホームが適切かよく話を聞くようにしている。 担当のケアマネジャーさんと相談している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ホームの見学に来ていただき、他利用者さんや職員とお茶を飲んで会話したり、何回か通ったりして利用されるかどうか相談している。  (外部評価) 自宅を訪問したり、ホームを見学してもらい、一緒に暮らすことになる利用者や職員との顔合わせを重ねて、馴染みやすい状態を体験してもらいながら、納得してもらったうえで利用を開始している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者さんと共に、食事作りや洗濯物干し等行い、コミュニケーションに努めている。 利用者さんに、聞きながら、学ぶことも多い  (外部評価) 人生の先輩である利用者、子育てや料理などについて、たくさんの知識を教えてもらっている。家事などは気持ちよく手伝ってもらいながら、おしゃべりが弾んでいる。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族からの情報を大切に、面会時に、最近の様子を伝えている。 外泊時の様子を記録して頂き、情報交換に役立っている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人が家族に対して思っていることなどを理解し本人、家族、職員が話し合ったりしてよい関係が作っているように努めている 面会の自由、外出、外泊支援	※	面会に来られた時など本人の意思を伝えたり理解できるよう、少しの間でも会話を持つように心がけている。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) ドライブを利用してのふるさと訪問		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 食後などすぐに部屋に帰ることのないように利用者間に職員が入って、会話をしやすいよう話題を引き出している。	※	部屋に閉じこもることが少しでも短くなるよう声かけして、一緒に過ごせる時を作っている。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院をされた方には、お見舞いに行っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の思いや希望を、日頃の会話や態度で捉え面会時にも家族の希望を聞き、ケアに生かせるように努めている。	※	本人の意思を大切にしてい
			(外部評価) 自分の意見を言う利用者が少ないので、家族から得られる情報等から思いや希望をつかもうとしている。	※	利用者の行動や表情から言葉に表せない思いをくみ取り、日々の関わりの中でよく話を聞き、把握した情報を記録して職員全員で共有し、サービスに反映していくことが求められる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族に話を聞いたり、本人の話、写真などから暮らしぶりを理解し、サービスの利用の経過等把握している。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 一人ひとりに合わせて、1日の流れの中でできること、できないことを確認しながら流動的に取り組んでいる。	※	少しでも、できることが多くなるように前抜きに暮らしていきたい。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 月1回、全員でケアカンファレンスを行い、本人 家族の意向も確認して、課題について話し合い利用者本位の計画を作成するようにしている。 担当職員を決めている。  (外部評価) 職員それぞれが日々の関わりの中で得た気づきを利用者ノートに書き込み、それらを取り入れながら担当者が介護計画案をつくり、ケアカンファレンスを行って作成し、家族の同意を得ている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 介護計画の期間に応じて見直しをしている。 身体状況に変化があった時など、ミニカンファレンスをして、現状に即した計画を作成して、共有する。 家族からの情報の収集や提供もしている。  (外部評価) 月1回のケアカンファレンスで介護計画にそった評価を行い、必要な見直しを行っている。具体的な変化が生じた場合はミニカンファレンスを行って対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別の介護記録、経過観察記録に日々の気づきを記入している。 利用者用のノートにも、読むとサインをして、情報の共有をしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 受診介助、重度化への対応。 利用者さんへの自宅訪問  (外部評価) 利用者や家族の要望に応じて、自宅の訪問、墓参り、かかりつけ医への受診、理美容院への外出など様々な支援を行っている。	※	本人、家族の希望で、自宅近くの法人内のグループホームへ移られた。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 保育所、小学校、中学校の職場体験受け入れ。 消防署の避難訓練、救急救命講習。 ボランティアの方の、歌や踊り、手品など。	※	ボランティアの方の受け入れを増やしていきたい
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 福祉用具の購入をしている。	※	本人の意向や、家族の希望に応じて他のサービス利用も支援していきたい
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) センターの職員さんが、権利擁護を受けている人の面談にこられた。	※	運営推進会議に、センターの職員さんの出席が可能かどうか、市の担当者が検討してくださっている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) かかりつけ医の往診あり。 利用者、家族が希望する病院へ受診している。  (外部評価) 協力医療機関が月2回の往診により健康管理を行っている。利用者の持病などによるかかりつけ医への受診支援は協力医療機関が中心となって行っている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 必要により、専門医へ受診している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 毎朝、看護師に健康状態を報告し、必要に応じて指示を受けている。 心身の変化や、異常時は気軽に相談出来るようになってきている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院した時は、情報提供書を書いている。 早期退院のための話し合いなど、医療機関と連携をとっている。 お見舞いに行っている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 医療連携体制、重度化した場合、看取りについて文書で説明している。その都度、話し合っている 本年度は、看取りの症例なし  (外部評価) 重度化及び看取りに関する指針を定め、家族の意向を大事に考えながら、主治医と相談を重ね、繰り返し話し合いながら支援している。現在までにホームとして2名の看取りの経験がある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人、家族の意向、医師の意向等確認してカンファレンスをして、全員で方針を共有するようにしている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) ホーム内での生活の様子を報告すると共に、考える問題行動について、情報交換して安心して住み替えができるようにしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 一人ひとりの声かけや、接し方に気をつけている。 個人情報保護法を理解し対応している。  (外部評価) プライバシーを損ねることのないよう声かけ等には十分配慮している。また、情報や記録などを持ち出すことがないように、個人情報の管理には注意している。	※	失敗に対して、叱ったり、誇りを傷付けるような声かけや対応をしない。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの決めたこと希望を表すことを大切に、それらを促す取り組みをしている。 選んでもらう場面を作り、選ぶのを待つことを心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者の思いを聞き入れて、楽しみ作りをしている。日課にしばられることなく、一人ひとりが、したいと思っていることを大切にしている。 マイペースで生活できている。  (外部評価) 声かけをしてその日の様子を感じ取り、ペースに合わせた支援ができるよう配慮している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人の希望で、地元の美容院を利用しているが、送迎をしてくださる。 出張美容を利用して、本人の希望する髪型にカットしてもらう人もいる。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 出来る事は、手伝っていただき、食事作りに参加してもらっている。 食事と同じテーブルで食べ、後片付けもそれぞれの出来る所までしていただいている。  (外部評価) 食事の準備、配膳、片付けなど、できることを手伝ってもらっている。利用者間で会話が弾み、楽しい時間がゆっくりと流れている。食事のペースがそれぞれ違っているが、お互いを思いやって待つ姿勢がある。	※	少しでもできる事をさがし、一緒に食事作りを楽しみたい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 買い物に出かけた時に、好きな物、食べたい物を買って、おやつや時間や、ご飯の時などに食べられるように、支援している。 お茶の時、好みの飲み物を選んでもらう。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 日中は、リハパンから布パンツに交換したり殿部をお湯で清拭したりする。 一人でできない人は、トイレで介助している。 早めに、声かけ、誘導している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 一人ひとりに合わせて、希望時に入浴できるように援助している。 又、一部介助したりして、楽しく気持ちよく入浴していただけるようにしている。  (外部評価) 一人ひとりの希望に応じられるよう、午前・午後どちらでも入浴できるよう配慮している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 利用者の生活パターンを把握し、生活リズムを作り安眠帯を取っている。 又、その日の疲労の程度によって一服したり、個別に休めるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 一人ひとりのADLに合わせて、1Fへの食材とり、洗濯物干しや料理作りの簡単な作業などを行っている。 猫のえさやりや、花の水遣りなど楽しみにしている。  (外部評価) 新聞を取りに行く、コップ洗い、タオルたたみ、食材採り、料理、大正琴、詩吟など、各々のできることが自信となるよう支援している。	※	おはぎ作りや、餅つきなど、季節の行事はこれからも大切にしていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自分でお金を持つことの大切さをスタッフが知っており、金銭管理を自分でしている人もいる。 好みの買い物に出る機会をつくり、買い物が楽しく行えるように支援している。	※	支払いのできない人も一緒にレジに並び買い物したことの楽しさ、喜びを感じてもらえるよう支援している。
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 畑の草引き、花の水遣りなど少しでも外に出る機会を作っている。 希望があれば、天気の良い日はドライブなどに出かけるようにしている。  (外部評価) 買い物を楽しみにしている利用者があるので買い物に出かけたり、回転寿司やドーナツ、ケーキ等の外食を楽しんだり、弁当を作って外出したり、自宅へ出かけるなど、戸外に出かける機会を多く持てるよう支援している。	※	これからも個別の外出の機会を増やしていく。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 月間ごとに、スケジュールを作り、季節に合った行事を実行している。 又、行きたい所があれば希望に応じ、手作りのお弁当など作り出かけている	※	個々の希望等をこれからも大事にしていく。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 日常的に電話など使用できるようにしており、介助にて通信の支援もしている。	※	これからもその都度支援していく
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 椅子を用意したり、湯茶を出して、ゆっくりと話ができやすいようにしている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束マニュアルを作り、身体拘束をしないようにしている。 職員全員が拘束をしないということを、認識して拘束のないケアを実践している。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 利用者の自由を大切にして、利用者、家族にも不安をもたらさないように介護している。 日中は、開錠している。  (外部評価) ハード面だけでなく、心の面でも鍵をかけないケアに取り組んでいる。外へ出かけた気持を察知すると、さりげなく同行して出かけるようにしている。利用者が出かけると近所の方が声をかけてくれるなどの関係も築いている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 保管場所がきちんと決めてある。 危険性のありそうな物を持っている利用者さんは見守りを強化している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 自分が危険だと思った時は、職員同士が、情報を共有して、次のステップで活用できるよう話し合い事故防止に取り組んでいる。 マニュアルがある。	※	事故報告書を書いているが、その後の再発防止策をよく話し合うことが大切


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 年1回、消防署による指導、訓練をしている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 火災避難訓練は、定期的に行っている。 他の、災害訓練は、まだできていない。  (外部評価) 火災時の避難訓練は定期的実施しているが、火災以外の場合や夜間を想定した対策は行っていない。	※	消防署の指導を受け、火災以外の非難訓練も行いたい。  山肌に位置していることもあるので、土砂崩れなど自然災害等への対策も検討しておくことが望ましい。ホームの外への避難に対しては、立地的にホームだけでは難しいと思われるので、地域の応援が得られるよう日頃から協力を呼びかけておくことが求められる。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 一人ひとりの身体面、精神面などを理解して事故のないような対応策を話し合っている。	※	身体機能は、低下していくので、家族との話し合いはこれからも必要である。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日頃の観察を充分して、「いつもと違う」という変化に気を付け、早期発見し、早めの受診をして重度化や入院を防げるよう努力している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 医師の指示どおりに服薬できるよう支援している。 誤薬がないよう注意し、確認している。	※	内服薬の提供表を見て、一人ひとりが薬について学習していくようにする

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 毎日の排便の有無の確認。便秘予防のため、水分量、食事量、運動への働きかけをしている。 便秘薬の服薬介助などもしている。	※	一人ひとりにあつた対応をしていく。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 声かけでできる人、介助がいる人など、利用者の力を引き出しながら、毎食後、支援している。 ポリドントを、週1回施行している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 水分摂取時間を決めて、一日2回は利用者全員で会話を楽しみながら摂取している。 カロリー計算を依頼し栄養バランスを考えている。 体重チェックをして、ご飯量を調整している。  (外部評価) 栄養士によってカロリー計算し、栄養バランスを考慮したメニューを用意している。体重チェックによる栄養状態の管理も行っている。水分摂取に関しては、意識的に調節している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 予防に対してのマニュアルがある。 インフルエンザワクチンをしている。	※	日頃より、感染について気をつけて日を決めて、手すりの清掃に取り組んでいる。
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 一日の終わりに、まな板、布巾、台ふきの消毒をしている。 定期的に、冷蔵庫の掃除をしている。 食材は、毎日、新鮮なものが届く。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 外の坂道は急で注意が必要であるが、門を入ると、芝生の庭や、花壇、畑がある。 車椅子用のスロープや、手すりがあり、安心して出入りができる。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) テーブルの配置を工夫し、利用者同士の会話もできる様に配慮している。 カーテンで採光の調節をしている。 壁の壁画や、花を飾り、季節感を出している。  (外部評価) 対面式のオープン台所は十分な広さがあり、みんなで一緒にゆっくりと作業できる。大きな窓はカーテンで採光とムードを調節している。あちこちに生花が飾られ、落ち着いた雰囲気となっている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 自由に各部屋を行きかうことができる。 好きな場所もあり、自由に過ごすことができる。 フロアに畳みもあり、利用することができる。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れたものを、持ってこられて、写真や絵など馴染の物を飾っている。 個性のある部屋になっている。  (外部評価) すっきりと片付いている部屋、私物が積まれている部屋、写真や思い出の品が飾ってある部屋など、思い思いに利用者の生活が垣間見られ、ほっとできる自分の居場所を確保している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 朝の掃除の時、窓を開けて換気している。 ポータブルトイレを使用している部屋には、消臭剤を置いている。 冷暖房の、温度調節をしている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手すりを持って、自力歩行が出来るようになっている		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 各部屋の前には、本人の顔写真があり、間違いのないようにしている。 トイレなどの表示も大きくわかりやすい。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 中庭の花壇の植え込みを、利用者で行ったり、天気の良い日には、外でお茶をしている。	※	利用者さんと一緒に、花を育てることを目標にしている。

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々、一緒に生活する中で、話や行動から掴んでいるが、認知症が進行してコミュニケーションが取りにくくなり、分かりにくいことがある。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	下肢筋力が低下している人が多いため、職員もゆっくり、ゆったり、慌てさせないように支援している。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりのペースを大切にして、声かけ、見守りをを行っている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	認知症が進んで、反応の少なくなった人への、関わりの工夫が必要
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	外出支援を多くするよう対応している。買い物は喜ばれる方が多く、全員参加の時も増えた。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	見守り、対応できているが、立地上、門の下の坂道が危険である。皆、高齢で、持病があり、認知症ゆえ、自覚症状や訴えが少ないので気をつけている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	それぞれの個別支援に応じて、安心して暮らしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	(自己 1 ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時には、家族と話すようにしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 1 ほぼ毎日のように 評価) 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	行事(祭りのみこし)での関わりはあるも、地域の人が気軽に立ち寄ってくれるまでには、なっていない。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大に増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	うら盆まつりの時など、地域の方の協力を得られる
98	職員は、生き生きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員は、毎日、元気で、明るく、楽しくしごとをしている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	それぞれの個別希望に応じて、支援できていると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会にこられた時の、家族さんの話や、表情から感じている。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

施設の中の大きな窓からは、清流肱川のゆったりした眺めを見ることができ、ホームの2本の桜の木が季節を感じさせてくれます。毎月1回、詩吟の先生に、声だし練習や、詩吟、歌を指導していただき、口腔機能が低下しないように、日々取り組んでいます。地域行事の、白滝うら盆まつりでは、笹飾りや作り物を、通りに飾ってもらっています。また、保育園児との楽しい交流もしています。